



第20回
世界パラ会議
福山大会
2025

ふくやま 市議会だより



撮影者 K.S.さん (引野町)

今回の定例会は

3月 6月

No.92

12月 9月

3月定例会



福山市

●今月の表紙●

弁天島と
平成いろは丸

3月定例会の概要	2
代表質問項目一覧	3
代表質問	4～7
一般質問	8～9
議員全体研修会	11
初議会の開催	12

令和6年3月定例会



令和6年3月定例会（2月16日～3月13日／会期27日間）の概要は次のとおりです。

16日 総務課長が1件の専決処分について報告
令和5年度一般会計補正予算および手数料条例の一部改正の2議案についてそれぞれ市長の提案理由説明の後、委員会への付託（委員会での審査）を省略して採決し、原案どおり可決

市長が市政の状況と56議案の提案理由を説明

26日・27日 議案や市政全般について4人の議員が代表質問

28日 議案や市政全般について1人の議員が代表質問、2人の議員が一般質問

29日 議案や市政全般について2人の議員が一般質問

29日質問終了後 市長が12件の追加議案の提案理由を説明

一般会計などの当初予算案15件と補正予算案11件の合わせて26件は、予算特別委員会を設置して付託、それ以外の42議案は所管の常任委員会に付託

1日 4常任委員会でそれぞれ議案等を審査

4日～8日 予算特別委員会で議案を審査

8日 教育委員会の教育長の任命について同意
教育委員会の委員の任命について同意
監査委員の選任について同意

農業委員会の委員の任命15件について同意

13日 議案等を審査した4常任委員会と予算特別委員会の委員長から審査結果の報告があり、それぞれ採決し、68議案を原案どおり可決、請願1件は継続審査

副市長の選任について同意

議員提出の市長の専決処分事項の指定についての変更案を可決

この定例会で決まったこと（一部をお知らせします）

■令和6年度当初予算

会計名	令和6年度当初予算額	令和5年度当初予算額との比較	
		増減額	増減率
一般会計	1,901億9,000万円	60億3,000万円	3.3%
特別会計	983億992万5千円	△18億8,729万3千円	△1.9%
企業会計	783億9,652万8千円	5億6,041万8千円	0.7%
合計	3,668億9,645万3千円	47億312万5千円	1.3%

■令和6年度の主な重点政策

- 子ども未来館プロジェクトの推進をはじめ、子どもの学びの充実に向けた取組など「若い世代の活躍支援」 53億6,858万4千円
- 福山駅周辺のにぎわい創出、世界バラ会議福山大会の成功に向けた取組など「都市魅力の創造」 68億8,445万7千円
- 自主防災組織等の活性化をはじめ、地域・行政の防災力の強化や公共交通の充実など「住みやすい生活環境の実現」 54億6,812万4千円など

■令和5年度補正予算

- ごみ処理施設建設費 52億6,248万8千円
- 外壁改修、給食調理場空調整備などの小中学校等建設費 12億5,790万円
- 谷地川の河川維持改良費 6億5,700万円
- 子ども医療対策費 1億2,500万円
- 公共施設光熱費等高騰対策のための費用 6億8,600万円など

■条例

- 松永はきもの資料館内に宮澤喜一記念館を新たに整備することに伴い、同資料館に設置する施設のうち入館料を納付して入館する施設に、宮澤喜一記念館を追加します。（松永はきもの資料館条例の一部改正）

■その他

- 竹原市の備後圏域連携中枢都市圏への加盟に向けて、新たに連携中枢都市である本市と竹原市との間における連携協約を締結します。

表紙写真 撮影者からひとこと：亡き父が「最後にもう一度見たい」と言っていた鞆の浦の風景です。その夢は叶わなかったけれど、父と一緒に潮風を感じているような気持ちで、穏やかな海を写真に収めました。

3月定例会 代表質問の項目一覧

3月定例会において、各会派代表の議員が質問した項目の一覧です。
太字の項目については、4ページから7ページに質疑の一部を掲載しています。



水曜会	質問者：大田 祐介	市民連合	質問者：西本 章
市長の政治姿勢		市政の当面する課題と市長の政治姿勢	
都市行政		人権行政	
文化振興		第9期福山市介護保険事業計画	
子育て施策		福山市高齢者・障がい者等のごみ出し支援モデル事業	
医療・福祉行政		鳥獣被害対策	
上下水道行政		路面標示などの交通安全対策	
市民病院		教職員の病気休職、早期退職など	
教育行政		医療的ケア児通学支援事業	
公明党	質問者：塚本 裕三	学校図書館整備事業	
市長の政治姿勢		学校給食無償化	
2024年度（令和6年度）新年度予算		新政クラブ	質問者：八杉 光乗
能登半島地震及び今後想定される南海トラフ地震への対応		市長の政治姿勢	
福山市公共施設等サービス再構築基本方針及び福山市上下水道事業中長期ビジョン（経営戦略）と本市の財政運営		新年度当初予算案と重点政策	
保健福祉行政		デジタル化の推進	
児童虐待防止対策		人口減少対策	
環境行政		人口減少社会における広域連携	
福山市の幹線道路網		少子化対策、子育て支援	
新たな産業用地確保		大規模地震への備え	
教育行政		防災意識の向上に向けた取組	
福山市立大学		高齢者施策	
誠友会	質問者：小島 崇弘	幹線道路網の整備	
新年度予算の財政指標		福山100NEN教育	
新年度重点政策に込められた市長の思い		学校における防災対策	
あらゆる世代が輝く魅力あふれるまちづくり		教職員の負担軽減の取組	
安心・安全で快適に暮らすことができるまちづくり		学習端末の活用	
新しいまちづくりの基盤となるデジタル化の推進			

代表質問

この定例会では、議案や市政全般について、各会派を代表して5人の議員が質問し、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。

なお、各会派の紙面の割合は、会派所属議員数に応じて案分しています。

会派名	議員数	質問時間
水曜会	13人	120分
公明党	7人	120分
誠友会	6人	120分
市民連合	3人	120分
新政クラブ	3人	120分

代表質問や一般質問の録画放送は、インターネットで見ることができます。(詳細は8ページ上段をご覧ください)

水曜会



おおた 大田 祐介



福山港内港の埋め立ては

問

経済界からの要望を受け市長は新年互例会において内港の埋め立てについて言及した。産業用地の確保や交通渋滞の緩和につながるのとことであるが改めて、埋め立ての意義は。

答

地元経済界からの要望では新たな産業用地や福山市立大学の用地としての活用につながるかとされている。また、造成した土地に南北をつなぐ道路を整備することで、国道2号の渋滞対策にも寄与するとされている。本市も同様の見方をしており、今後、国や県とも連携して事業スキームを含め事業の実現可能性を検討していく。



福山港内港の様子

新たな救急搬送支援システムの導入は

問

①本市は2021年のコロナ禍において、救急病院と救急隊をデジタルでつなげて素早い対応ができるよう、新たなシステムの導入実験を開始した。新システムの導入により、これまで紙と電話で実施していた救急隊と病院との情報共有をデジタルで代用し、救急隊と医療機関の業務負担軽減に取り組んだが、その成果や課題は。

②本市における実験を受けて、広島県全域の市町で現在、実証実験が行われていると聞いているが、その状況は。

答

①増加する救急需要に対し救急活動時間の短縮や業務負担の軽減を目的に、救急隊が現場で傷病者から聴取した情報をデジタル技術を活用して医療機関と共有する全国初の取り組みである。

具体的には、救急隊から医療機関に電話で受け入れ要請や引き継ぎしていたものを、タブレットで傷病者のバイタルサイン等の情報を送信することとしたものである。その結果、救急隊からは、医師と

の正確な情報共有ができ円滑な受け入れにつながった、音声入力機能の活用により入力作業の省力化とさらなる時間短縮につながった、医療機関からは、傷病者などの画像を共有することで搬送後スムーズに医療行為を開始できた、救急隊から送られた情報を電子カルテに反映することができ事務の省力化につながったなどの報告があり一定の成果があったものと考えられる。

一方、課題としては、参加医療機関が5施設と限られており、検証にはさらに多くの医療機関の参加が必要であったと考える。

②県は、福山地区消防組合の取り組みを高く評価し、2022年度に特別委員会を立ち上げ、救急搬送支援システムの在り方や実証実験の実施に向け、検討を進めてきた。そして、県内13消防本部のうち、福山地区消防組合を含む12消防本部と81の医療機関が参加して2023年10月1日から2025年9月30日までの間、実証実験を行っているところである。



救命救急活動の様子



保護者ポータルサイトは

問 現在、ほとんどの公立学校では保護者への情報伝達をアナログな紙ベースで行っている。メールの場合は機密性が担保できないという問題がある。高い機密性を担保しつつ保護者とデジタルで情報を共有できる方法として、私立大学では保護者ポータルサイトを使ってやり取りするの一般的なであるが、本市も取り組んでみてはどうか。

答 個人情報保護された状態で学校や教育委員会からのお便りや連絡を保護者がスマートフォンなどで確認できるサービスである。学校徴収金に係る年間徴収計画や未納通知などの送付にも利用するため、学校徴収金システムに本サービスを導入する予定である。

学校図書館整備事業は

問 これまで議会や報道などでさまざまな意見が出されたが児童生徒の読書量は明確に増えているのではないかと。令和5年度が最終年度となった本事業の総括と今後の取り組みは。

答 整備前の学校図書館は決められた時間以外は施錠され、情報が古い図鑑や資料が配架されていた。魅力ある図書館にするため、明るく過ごしやすい空間づくりや最新の情報が掲載された図書の充実などに取り組んだ。これらの取り組みにより、現在、常時開館している学校は9割となり、1割に満たなかった週1回以上図書館を

利用する児童生徒の割合は3割になっていく。最新の情報が掲載された自然科学など、子どもたちの読みたい図書が増え、貸し出し冊数は1・4倍になった。学校主体の図書館運営を行うために、パイロット校では学校図書館運営委員会を中心に図書選定などを行い、既に14校がパイロット校の取り組みを参考に学校図書館運営委員会を立ち上げ、図書ボランティアの方などと読書推進に係る広報の取り組みを協議するなどしている。

今年度から、全ての学校で学校図書館運営委員会が中心となり、さらなる充実に向け取り組んでいく。



整備後の大門中学校図書館

統合型校務支援システムの導入は

問 教育機関にまつわる業務を効率化するツールで、すでに多くの教育現場で採用されている。児童生徒の情報のデータベース化や校務のデジタル化の取り組みにより見込まれる効果は。

答 成績処理や出欠管理等の教務系、健康診断や保健室来室記録等の保健系、名簿や指導要録等に関する学籍系などを統合した機能を持ち、グループウェアの活用による情報共有も含め、広く校務と呼ばれる業務全般を実施するために必要となる機能を実装したシステムである。児童生徒の情報のデータベース化や校務のデジタル化により成績データを分析し授業改善につなげるなど、教職員が情報を共有、活用し時間を確保することで、一人一人に応じた指導や支援ができるようになる。また、教職員の日常的な事務業務全般が効率化されセキュリティが高まるため、手書きや転記作業の減少による正確性の向上や情報漏えいリスクの低減といった効果がある。

公明党



南海トラフ地震への対応は

問 津波避難計画の作成は。

答 42学区・地区が取り組み、16学区・地区で完成している。2023年度末までに25学区・地区の完成を見込み、残り17学区・地区が完成するよう支援に努める。

福山市公共施設等サービス再構築基本方針は

問 公共施設等の保有情報のデータベース化は、本方針の信頼性を高めると考えるが。

答 2015年度から本市が保有する全ての公共施設等の所在地や構造などの情報をデータベース化している。今後は固定資産台帳等の情報とデータベースの情報をひも付けることで、より多角的な視点による集約・複合化など公共施設等サービス再構築を進める。

5歳児発達相談は

相談の現状は。

答 発達状況などを保護者と共有し、課題があれば早期に支援を開始してスムーズな就学につなぐことを目的としている。保護者は

子どもの気になる姿を保育施設の職員と話し合うことで関わり方についての不安が軽減されている。

保育施設では、個別指導計画を作成し、子どもの実態に合った保育に取り組んでいる。また、必要に応じて、子ども発達支援センターやことばの相談室につなげている。

ふくやま環境美化センターは

問 供用開始により、燃やせるごみの処理はどう変わるのか。

答 現在3つの焼却施設とごみ固形燃料工場で処理しているが、

新施設ではこれらを1カ所に集約し、府中市と神石高原町のごみも合わせて処理する。3炉構成で実質1日当たり平均460トンの処理が可能となる。想定される1日の処理量は約400トンであるため、十分な処理能力を有している。

教育長による学校訪問は

問 教育長は日々、学校現場を訪問し、先生や児童生徒と対話しているようだが、感想は。

答 昨年度の訪問は300回を超え、研修等を含めると8年間で

2千回を超える。各学校では校長を中心に教職員一人一人が従来の価値観を問い直し、子ども主体の学びに向けてチャレンジし続けている。最近では面白がって学び、考え続ける子どもの姿が見られる教室が増え、日々の授業での子どもや教職員の姿に感動の連続である。

福山市立大学は

問 入学希望の学生は将来に夢を託し本大学を選ぶものと思うが、学生にPRすることは。

答 地域に根差した、市民から

信頼される大学として「キャンパスは街、学ぶのは未来」を掲げ、体験型、参加型の授業をしてきた。またAIを用いた水道施設の効率的な運転管理に関する共同研究や高等学校での探究活動の指導助言等、成果を地域にも還元している。

誠友会



こばたけ 小島

たかひろ 崇弘



地域、行政の防災力の強化は

問 能登半島地震のような大規模災害に対し、今後どのような考えで防災対策に取り組むか。

答 大規模災害への備えとして自助、共助、公助の取り組みを一層強化する必要がある。能登半島

地震の発生を受けて実施した市公式LINEでの緊急アンケートの結果を踏まえ、ハザードマップによる災害リスクの確認などの自助の取り組みを強化する。また、共助としては対象となる全42学区・地区で津波避難計画を策定するとともに、避難行動要支援者のための個別避難計画の策定率を向上させる。公助については、今年度実施する大規模災害を想定した総合防災訓練において、昨年度新たに策定した受援計画の素案に基づき関係機関同士の連携を確認するなど受援体制の強化に取り組む。

有害鳥獣対策の推進は

問 今年度、市街地に出没するイノシシへの対策に取り組むとのことだが、詳細と目的は。

答 専門家の意見を踏まえ、市

街地近郊の森林において痕跡やカメラによる出没頻度調査を行い、効果的な場所に箱わなを設置する。箱わなには成獣を感知するセンサーを取り付け、人慣れ、車慣れした成獣をまずは捕獲することで市街地出没と生息数の減少をめざす。

高齢者の健康・生きがいづくりの充実

問 バス等の優待交通助成の拡充や新たに組み込む補聴器購入助成により期待される効果は。

答 おでかけ乗車券の拡充によ

り外出機会を増やす。また、補聴器購入助成制度の創設により聴力低下へ早期に対応することで、高齢者が人や地域とつながり、生きがいを持って暮らせるように支え生活の質の向上などにもつなげる。



補聴器で暮らしを豊かに

市民連合



にしもと
西本 章
あきら



平和をめぐる諸情勢は

問 ロシアのウクライナ侵攻から2年が経過したが、ますます泥沼化している。また、パレスチナ・ガザ地区でも、多くの一般市民の犠牲者が出ており、その惨状が伝えられている。

ウクライナとパレスチナ・ガザ地区での戦闘行為の即時停戦を強く求めるが、市長の考えは。

答 罪もない人々の命と財産を奪う行為であり、決して許されるものではない。1日も早く事態が収束し、平和的解決が図られることを願っている。

恒久平和の実現は人類全ての共通の願いである。今後とも、平和非核都市福山宣言の趣旨を踏まえ、平和な社会の実現に向け積極的に諸施策の推進に取り組んでいく。

子育て世代への支援策は

問 人口流出に歯止めをかける施策の一つでもある福山ネウボラによる支援策は、今年度の予算にも色濃く反映している。今後の支援策について、市長の考えは。

答 市民アンケートの声を受け、経済的負担の軽減や保育サービス、仕事と子育ての両立に向けた支援などが何よりも重要と考える。このため、福山ネウボラのさらなる強化に向け、今年度は第2子以降

の保育料無償化、不妊治療費助成の拡充などの3つの負担軽減に先行的に取り組む。子ども・子育て支援策の全体像については、福山ネウボラ第2ステージの指針となる「こども計画」の中で示す。この計画には、3月に立ち上げる子ども未来づくり100人委員会の意見もしっかりと反映していく。

引き続き、社会全体で子ども・子育て世代を支える「こどもまんなか」の実現に取り組む。



新政クラブ



やすぎ
八杉 光乗
みつなり



学校体育館の環境整備は

問 学校施設は子どもたちの学習や生活の場であるとともに災害時には地域住民の避難所などとしての機能も果たすことから、安全性の確保と防災機能の強化が求められているが。

答 学校施設長寿命化計画に基づき施設整備を進めていく。今年度は小学校4校の体育館の長寿命化改修に取り組み考えである。屋上防水など、耐久性に優れた素材による改修工事のほか、水道設備

などライフラインの更新等に加え、複層ガラス等の高断熱化などの整備を行い、ZEB化を推進する。さらに、避難所としての防災機能を強化するため、バリアフリートイレの整備や、停電などに備えスポットクーラー等も利用できる

よう、体育館に発電機などを接続する発電機接続設備を整備する。実験を行ってきた。今年度は実装に向けた協議会を立ち上げ、ドライバの監視の下でシステムが運転するレベル2に対応する実験を行うこととしている。この実験では、車両と信号等を協調させるシステムや遠隔監視システムにおける通信環境などの課題を洗い出し2027年度までにレベル4の実装をめざす。新たなモビリティサービスの創出により、市内の主要拠点や商業施設等へ誰もが便利に移動できるまちづくりにつなげる。

自動運転移動サービスは

問 改正道路交通法により特定の条件で車の全ての操作をシステムが担うレベル4の公道走行が解禁され、各地で自動運転の実証実験が本格化している。今年度、福山駅前とエフピコアリーナふくやまの間で実証事業を本格化することとしているがその内容や事業の進め方は。また、本市が考える将来構想は。

答 これまで将来の移動手段の確保を目的に中心市街地や郊外で

実装を行ってきた。今年度は実装に向けた協議会を立ち上げ、ドライバの監視の下でシステムが運転するレベル2に対応する実験を行うこととしている。この実験では、車両と信号等を協調させるシステムや遠隔監視システムにおける通信環境などの課題を洗い出し2027年度までにレベル4の実装をめざす。新たなモビリティサービスの創出により、市内の主要拠点や商業施設等へ誰もが便利に移動できるまちづくりにつなげる。



※ZEB: Net Zero Energy Building (ネット ゼロ エネルギー ビル) の略称で、「ゼブ」と呼ぶ。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることをめざした建物。省エネによって使うエネルギーを減らし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることでエネルギー消費量を正味でゼロにすることができる。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	1人	65分
誠友会	1人	45分
無所属	2人	各30分



一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、4人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。

(一)内には、各会派等からの質問申出時間を記載しています。

録画放送の視聴方法

各議員記事のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、代表質問や一般質問の録画が視聴できます。

ふくやま市議会だよりには質疑の一部を掲載しておりますが、各議員は、ほかにも多くの項目にわたって質問し議論を繰り広げました。ぜひご覧ください。

また、**福山市のホームページ**

→ **福山市議会** → **議会中継**

→ **ここからも視聴できます。**



木村 素子
水曜会
(65分)



不登校児童生徒への支援は

問 ①公的フリースクールの指導的や目標は。また、現在の取り組み状況は。②義務教育終了後の進路指導とその後の追跡の実施状況は。

答 ①利用する児童生徒が社会的自立に向けた力を育み、成長できる場であることをめざしている。フリースクールでは児童生徒が時間や過ごし方などを自ら決めて学習や創作、スポーツ等をして過ごす。職員は、児童生徒の実態や保護者の願いを踏まえ、サポート計画等を作成し支援している。②生徒の希望と状況に応じて、進学や就職に向けた具体的な支援を行っている。進路未決定の場合は卒業後1年間、元担任などが家庭訪問等を定期的に行い、進学や就職に係る資料の提供など進路相談を継続している。状況に応じて「ひきこもり相談窓口ふきのとう」などを紹介し、若者や家族が相談できる機関につながるようにしている。



公的フリースクールの作品展示

人口減少問題への対策は

問 ①どのような分析をしているか。また、今後の分析は。②今年度の事業を含む取り組みの具体は。

答 ①人口移動統計調査や市民意識調査、SNSでのアンケート等の実施とともに外部有識者会議等を通じ要因を分析してきた。今後は、広島県とも連携し、若者の転出要因の実態把握や分析を行うとともに、備後圏域の人口流出を防ぐダム機能を果たせるよう効果的な人口減少対策につなげる。②福山で学び、働き、子育てできる環境の整備をめざす。福山市立大学に情報工科学部を新設し、進学の実績を増やすとともに、グリーンなものづくり企業プラットフォームによる女性雇用の促進等にも努め第2子以降の保育料無償化など福山ネウボラのさらなる強化にも取り組む。また、福山駅周辺のにぎわい再生や歴史、文化、スポーツなど都市の魅力の創出にも注力する。



荒玉 賢佑
誠友会
(45分)





高木 たくぎ
無所属
(30分)
武志 たけし



子育て支援の充実は

問 福山保育団体連絡会から保育予算の増額と保育行政の充実を求める要請書が提出され、保育士の配置基準と処遇の改善、保育料と給食費の無償化が要望されているが、市長の受け止めは。

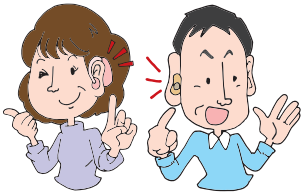
答 3歳未満児の第2子以降の保育料無償化は、経済的負担の軽減を求める市民の声に応えるものである。保育士の配置基準や処遇の改善、学校給食費の無償化については全国市長会を通じて国へ要望している。

健康寿命の延伸への取り組みは

問 補聴器購入助成制度の目的は。また、助成額を2万5千円とした根拠は。

答 高齢者の聴力低下に早期に対応すること、人や地域との交流を維持し、フレイルや認知症予防につながるものである。

助成額は中核市の状況を踏まえ設定した。



三好 みよし
無所属
(30分)
剛史 たけし



要介護認定の状況は

問 ①厚生労働省の要介護認定適正化事業における業務分析データによると、一次判定における第3群の認知機能の一部項目と、第4群の精神・行動障害の全項目で全国の認定率に比して有意に低い状況が少なくとも10年にわたり続いている。全国共通の基準で行うはずの判定でなぜこれほどの乖離が生じているのか。
②排尿介助について本市は認定調査員テキストの判断基準より厳格に判定していたことが明らかとなったが、同様に第3群と第4群の判断でテキスト基準にのっとらない解釈がされている実態はあるか。

答 ①要介護認定は、認定調査と主治医意見書を基に、医師や専門職で構成する介護認定審査会で判定する仕組みとなっており、適正な決定がなされている。
②認定調査は、全国共通のテキストに基づき実施しており、本市独自の基準はない。



本会議・委員会の傍聴のご案内

本会議や委員会は公開していますので、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、会議の当日、本会議は議会棟5階の受付で、委員会は2階の受付で傍聴券の交付を受けてください。



*本会議では手話通訳士の配置とヒアリンググループの設置をしています。

本会議では、耳の不自由な方のために手話通訳士を配置しており、傍聴席のモニターでもご覧いただけます。

また、受話通訳音声が届きにくい方や補聴器、人工内耳をご利用の方に、目的の音声だけをクリアに届けることができるよう、議場の傍聴席にヒアリンググループ（磁気グループ）システムを設置しています。ヒアリンググループに対応する補聴器をお持ちでない方にも、専用受信機を貸し出していますので、ご希望の方は傍聴受付でお申し出ください。

詳しくは、福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会傍聴の案内 → ここからもご覧いただけます。

詳細はこちら →





令和6年3月定例会 議案の審議結果一覧

○は賛成、×は反対、※は賛否双方あり

付託委員会	賛否が分かれた案件	水曜会 (13人)	公明党 (7人)	誠友会 (6人)	市民連合 (3人)	新政クラブ (3人)	無所属 (3人)	採決 結果
総務	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	※	可決
	職員定数条例の一部改正	○	○	○	○	○	※	可決
	福山市と竹原市との間における連携中枢都市圏形成に係る連携協約	○	○	○	○	○	※	可決
	福山市と三原市との間における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更	○	○	○	○	○	※	可決
	福山市と尾道市との間における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更	○	○	○	○	○	※	可決
	福山市と府中市との間における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更	○	○	○	○	○	※	可決
	福山市と世羅町との間における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更	○	○	○	○	○	※	可決
	福山市と神石高原町との間における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更	○	○	○	○	○	※	可決
	福山市と笠岡市との間における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更	○	○	○	○	○	※	可決
	福山市と井原市との間における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更	○	○	○	○	○	※	可決
	民生福祉	養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正等	○	○	○	○	○	※
指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正		○	○	○	○	○	※	可決
介護保険条例の一部改正		○	○	○	○	○	※	可決
文教経済	松永はきもの資料館条例の一部改正	○	○	○	○	○	※	可決
	財産の処分1件	○	○	○	○	○	※	可決
建設水道	都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	※	可決
予算特別	令和6年度一般会計予算	○	○	○	○	○	※	可決
	令和6年度都市開発事業特別会計予算	○	○	○	○	○	※	可決
	令和6年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	※	可決
	令和6年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	※	可決
	令和6年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	※	可決
	令和6年度病院事業会計予算	○	○	○	○	○	※	可決
	令和6年度工業用水道事業会計予算	○	○	○	○	○	※	可決
	令和6年度集落排水事業会計予算	○	○	○	○	○	※	可決
	令和5年度一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	※	可決
	令和5年度都市開発事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	※	可決
	令和5年度集落排水事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	※	可決
	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	※	可決
	令和5年度介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	※	可決
	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	※	可決
	令和5年度駐車場事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	※	可決
	令和5年度病院事業会計補正予算	○	○	○	○	○	※	可決
	令和5年度水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	※	可決
	令和5年度工業用水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	※	可決
令和5年度下水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	※	可決	
委員会付託省略	手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	※	可決
	教育委員会の教育長の任命の同意	○	○	○	○	○	※	同意
	監査委員の選任の同意	○	○	○	○	○	※	同意
	副市長の選任の同意	○	○	○	○	○	※	同意

次ページに続く

全員が賛成した案件	議案名の後の () は付託委員会名
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正(総務)	山陽本線東福山・福山間回生陸橋補修工事委託契約締結の変更(建設水道)
一般職員の給与に関する条例の一部改正(総務)	河川改修工事(谷地川・手城川流域・4-1)請負契約締結の変更(建設水道)
旅費条例の一部改正(総務)	漁港管理事務の事務委託に関する規約の変更の協議(建設水道)
職員退職手当支給条例の一部改正(総務)	市道路線の認定(建設水道)
市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例等の一部改正(総務)	市道路線の廃止(建設水道)
税条例の一部改正(総務)	令和5年度一般会計補正予算(第7号)(予算特別)
(仮称)福山市立大学複合施設新築工事請負契約締結の変更(総務)	令和6年度食肉センター特別会計予算(予算特別)
包括外部監査契約の締結(総務)	令和6年度駐車場事業特別会計予算(予算特別)
消防団員等公務災害補償条例の一部改正(総務)	令和6年度母子父子寡婦福祉資金貸付特別会計予算(予算特別)
女性自立支援施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定(民生福祉)	令和6年度誠之奨学資金特別会計予算(予算特別)
児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正(民生福祉)	令和6年度財産区特別会計予算(予算特別)
一般廃棄物処理業等合理化作業計画審議会条例の制定(文教経済)	令和6年度水道事業会計予算(予算特別)
財産の処分6件(文教経済)	令和6年度下水道事業会計予算(予算特別)
手数料条例の一部改正(建設水道)	教育委員会の委員の任命の同意(委員会付託省略)
漁港管理条例の一部改正(建設水道)	農業委員会の委員の任命の同意15件(委員会付託省略)
風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部改正(建設水道)	市長の専決処分事項の指定についての変更(委員会付託省略)

* 賛否は、本会議閉会后、議案ごとに会派等に確認したものです。議案名の「福山市」等は一部省略して表記しています。

議員全体研修会を開催しました！

「議会におけるハラスメント ～パワハラ・セクハラについて～」

講師 株式会社 廣瀬行政研究所
代表取締役 廣瀬 和彦さん



1月10日、議員や市長、市職員など約80人が参加して議員全体研修会を開催しました。

今回は株式会社 廣瀬行政研究所の廣瀬和彦さんをお招きし、議会におけるパワハラやセクハラの防止についてご講演をいただきました。

議員と市職員、議員同士、議員と支持者の間におけるハラスメントについては報道などで取り上げられることも多くあります。私たち議員にとっても関心のあるテーマであり、約2時間の研修を皆が熱心に聴講しました。

ハラスメント防止の法的根拠、職場の就業環境や人間関係に与える影響などについて全国での事例や

判例も交えながらお話をいただく中で、パワハラについては私的な感情と公的な行動をコントロールできる力を身につけること、またセクハラについても自らの判断基準が他人に通じる、許容されるとは限らないことを踏まえて行動することが必要だと感じました。また、飲酒を伴う食事会などに対する世代間の感覚の違いも意識させられました。

ハラスメントの防止に当たって何よりも重要なことは、相手の立場や気持ちになって判断し、行動することだと思います。議員や市職員などが、その能力を100%発揮できる環境となるよう、ハラスメントの防止に取り組んでまいります。

福山市議会から災害見舞金を送りました

1月1日に発生した能登半島地震により犠牲になられた方々とそのご遺族に対し、深く哀悼の意を表すとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

被災された方々の支援に役立てるため、北信越市議会議長会を通じて、本市議会の議員全員より35万円の災害見舞金を送らせていただきました。

被災地の一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

新しい体制を決める初議会(臨時会)を開催します

日時(予定)：5月13日、14日(2日間) 午前10時開会

4月7日に行われた市議会議員一般選挙の結果、新しく38人の議員が決まり、5月1日から新議員の任期がスタートします。

ここでは、新しい議会の体制を決める初議会についてお知らせします。

4年に一度の市議会議員改選後には、初議会となる臨時会を開催し、新しい議会が活動するために必要な事項を決めます。

なお、初議会では、議長の職務を行う者がいないので、議長が決まるまで、地方自治法の規定により、議場に出席している議員の中で年長の議員が臨時に議長の職務を行います。

初議会では、おおむね次のことを行います。

- 議長の選挙
- 副議長の選挙
- 議席の指定
- 常任委員会、議会運営委員会などの委員の選任と各委員会の正副委員長の互選
- 一部事務組合議会などの議員の選挙
 - ・福山地区消防組合議会
 - ・広島県後期高齢者医療広域連合議会



「ふくやま市議会だより」の表紙作品大募集!

次回定例会号の応募締切は5月24日(金)です。

8月をイメージした作品大歓迎!!

募集内容

福山市の魅力を紹介できる写真、絵画、イラスト

応募者が撮影または作成した縦型のもの
※作品の応募は通年で受け付けています。

※採用者には記念品を進呈します。



詳しくは、

福山市のホームページ → 福山市議会 →

市議会だより → ここからもご覧いただけます。

公募要領はこちら →



政務活動費の収支報告書を公開します

2023年度(令和5年度)に各会派に交付された政務活動費について、収支報告書などの関係書類(支出書や領収書等)を5月31日(金)から公開します。

また、議員の任期が4月30日で満了のため、2024年度(令和6年度)4月に各会派に交付された政務活動費1カ月分の収支報告書等の関係書類を7月1日(月)から公開します。

これらの書類は、ホームページで見ることができます。また、市役所3階の市政情報室または議会事務局に申請していただければ誰でもすぐに閲覧でき、有料でコピーもできます。

詳しくは、議会事務局庶務課にお問い合わせください。(☎084-928-1123)

編集後記

3月定例会では、震災対策や人口減少対策、世界バラ会議福山大会に向けた取り組みなど活力と魅力にあふれ、誰もが安心して快適に暮らせるまちの実現に向けて活発な議論が交わされました。

さて、4月の市議会議員選挙で新たに選ばれた38人の議員は、5月1日から議会活動を始めます。新たにスタートした市議会の情報を分かりやすくお伝えし、皆さまに楽しみにしていただける市議会だよりとなるよう、編集委員一同で取り組んでまいります。ご意見、ご感想をお待ちしています。

(野村志津江)



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【ホームページアドレス】<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/gikai/>

【メールアドレス】giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp

※「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。

市議会 はこちら →

